

資料

1 児童館年表

年	社会・子ども文化	国・都の動き	区・議会の動き
昭和38	◆公立学童保育所開始 (渋谷区)	◇児童館設置費国庫補助開始 ◇児童館運営費国庫補助開始 ◇学童保育事業運営要綱 都費補助開始 ◇国庫補助による児童館 の運営設置について ◇都児童会館開館	◆上山区政誕生 ◆一般質問(中山議員) 学童保育について 児童館・児童遊園 について ◇請願(新井地区住民) 「学童保育所開設 について」
39	◇東京オリンピック ◆かぎっこ問題化	◇都費補助による児童館 の運営設置について	◇一般質問(工藤議員) 学童保育について
40	◇総人口1億人をこえる ◇登校拒否マスコミに登場	◇地方自治法改正 《福祉関係事務が都から 区に移管する》 ◇学童保育運営要綱(都) ◇学童保育指導要領(都)	◇一般質問(中山議員) 児童会館の建設計画と その見直しについて
41	◇ベトナム戦争の本格化 ◇シンナー遊びの流行 ◇ビートルズの日本公演 ◇王・長島(ヒーロー) ◇鉄人28号(テレビ) ◇魔法使いサリー(テレビ) ◇ウルトラマン(テレビ) ◇怪獣ブーム	◇東京都における学童保育 事業のあり方について (答申) 東京都児童福祉審議会 ◇留守家庭児童会育成事業費 補助要綱(国) 《児童福祉の中で保護を中 心とした施策として捕らえ 都では実施せず》	◇一般質問(中山議員) 学童保育について ◇請願(鍋横地区住民) 「学童保育の確立 について」 (学童保育事業と校庭開 放事業の切り放しを求め る) ◆中野区児童館条例
42	◇中東戦争勃発 ◇公害対策基本法公布 ◇いざなぎ景気 ◇青少年のマンガ族増加 ◇プラモデルブーム ◇グループサウンズ人気 ◇テレビ普及率83.1% ◇ウルトラセブン(テレ)	◇美濃部都政の誕生 ◇「東京都公立児童厚生施設 連絡協議会」発足	◇一般質問(勝保議員) 学童保育対策について ◇請願「鷲宮住宅地内 巡回保育の実施につい て」
43	◇ベトナム和平パリ会議 ◇東大紛争 ◇3億円強奪事件 ◇水俣病公害認定 ◇ハレンチ学園(マンガ)	◇都中期計画 「いかにしてシビル・ ミニマムに到達するか」 (4小学校区1児童館・学 童保育室併設・330㎡以上)	◇請願(都教組中野支部) 「児童館等の増設 その他について」

児童館	学童クラブ
<p>◇議会の中で学童保育や児童館施設のことが一般質問にも現れ始める (警察大学の跡地に大型児童館の建設構想と共に地域型の小型児童館の建設も考えられていた)</p>	<p>◇校庭開放事業開始 (地域社会における児童生徒の健全な遊びを確保し社会性、集団性の向上、発展を目的に小中学校を幼・小・中学生に開放指定校は小学校20校・中学校7校)</p>
<p>◇将来的には児童館と学童保育を併設 (議会一般質問での区側回答)</p>	<p>◆学童保育が始まる (校庭開放事業の中で子供クラブの名称で桃三・上高田・大和・塔山が開設対象は1～2年 定員50名 指導員2名 おやつを支給 塔山の対象は、不良防止対策として1～6年) ◇組織→民生課</p>
<p>◇将来的には出張所単位に1児童館 (議会一般質問での区側回答)</p>	<p>◆全小学校で学童保育が開設 (校庭開放は学校開放事業として充実 その中で学童保育は留守家庭児童会として実施・名称は子ども部屋) およつの廃止 ◇教育委員会に移管</p>
<p>◆児童館が初めて開設(厚生部管理課所管) 火～日曜開館・月曜閉館・福祉センター長が館長兼務 ◆児童館の役割 「児童に健全な遊びを与え、幼児又は少年を個別的、集団的に指導して児童の健康を増進し、情操を豊かにする。又、子ども会母親クラブ等の育成助長をはかる等児童の健全育成に限らず総合的施設として児童館がある」厚生部事業概要より ★南中野児童館開館(区内初の児童館) ☆橋場児童館開館(南部福祉センター)</p>	
<p>◇毎年2児童館建設予定 ☆小淀遊戯室が開室 (職員寮の一階であるため、対象は3歳～2年・土曜日の午後と日曜日は閉館・時間は10時～4時) ☆大和児童館開館 ☆江古田児童館開館(北部福祉センター)</p>	<p>◇対象が1～3年となる ◇おやつ代の区負担が開始(1人15円) ◇学校開放指導員の研修が始まる ◇研究発表の実施 (学校開放事業発展のため、研究校を指定し学校と指導員とで研究発表を行う)</p>
<p>◇「夏季クラブ」の実施 (巡回保育と合同で夏休み期間、火曜お話しクラブ 水曜音楽クラブ 金曜絵画・製作クラブ 時間は1時半～3時半) ☆朝日が丘児童館開館</p>	

年度	社会・子ども文化	国・都の動き	区・議会の動き
44	<ul style="list-style-type: none"> ◇アポロ11号月面着陸 ◇GNP世界第二位 ◇玩具の多様化が進む ◇アタックNO1(テレビ) ◇8時は全員集合(テレビ) 		
45	<ul style="list-style-type: none"> ◇米軍が北爆再開 ◇日米安保条約自動延長 ◇日航機「よど号」 ハイジャック事件 ◇大阪万国博覧会 ◇コインロッカーへの 嬰兒置捨て続出 ◇女子雇用者中に占める既 婚者の割合が5割を越す ◇ウーマンリブ 	<ul style="list-style-type: none"> ◇学童保育事業の基本的あり 方について (報告) 特別区厚生部長会 ◇都費補助による児童館の設 置運営について 改正 (学童保育室を含み最低規 模185.12㎡標準規模330 ㎡) 	
46	<ul style="list-style-type: none"> ◇ドルショック ◇未婚の母 ◇落ちこぼれ問題化 ◇ボーリングの流行 ◇仮面ライダー(テレビ) ◇帰って来たウルトラマン 第二次怪獣ブーム 		<ul style="list-style-type: none"> ◆大内区政誕生 ◇請願 「学童保育につい て」(学童保育指導員 組合が校庭開放事業か らの分離と正規職員化 を求め採択される)
47	<ul style="list-style-type: none"> ◇日中国交正常化 ◇沖縄返還 ◇田中内閣誕生 ◇日本列島改造論 ◇子捨て・子殺しの 報道増加 ◇暴走族激化 ◇子どもの遊びの 48%が自宅 ◇木枯らし紋次郎(テレビ) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇児童館事業の一環として学 童保育を位置付け指導員を 常勤化 (都方針) ◆東京都における児童館のあ り方について(意見具申) 《児童館の理念を明確化 学童クラブの施策の基本を 示す》 東京都児童福祉審議会 	<ul style="list-style-type: none"> ◇請願 「東中野小学校区 域内に学童保育室等の 設置について」
48	<ul style="list-style-type: none"> ◇オイルショック 物不足・狂乱物価 ◇公害・消費者問題深刻化 ◇離婚の増加 ◇あかちゃん幹旋事件 ◆第三次非行現象 シンナー遊びの再燃 非行の低年齢化 	<ul style="list-style-type: none"> ◇国庫による 母親クラブ活動要綱 ◇子どもの遊び場の 確保について 中央児童福祉審議会通達 ◇都中期計画 (2小学校区1児童館) ◇児童のシビル・ミニマム について 都企画調整局調査 	<ul style="list-style-type: none"> ◇請願 「鷺宮小学校区 域内の児童館建設につ いて」 ◇請願 「沼袋西公園にお いて巡回保育の実施に ついて」

児童館	学童クラブ
<p>◆5児童館で巡回保育が始まる (現在の幼児グループ)</p> <p>☆新井薬師児童館開館</p>	
<p>◆「1小学校区1児童館建設構想」 「児童館のPR、職員の意識変革と資質の向上、児童館活動のあり方の検討の必要性」「今後、巡回保育は、屋外施設にふさわしい遊びの指導に徹することが必要となる。」 厚生部事業概要</p> <p>◇館長は福祉センター所長から厚生部管理課児童係長が兼務)</p> <p>☆上の原児童館開館 ☆宮の台児童館開館 ☆武蔵台児童館開館</p>	
<p>◇第4日曜日閉館 (第4日曜日の翌日の月曜日 AM 館内整理日 PM 開館)</p> <p>☆南台児童館開館</p>	<p>◆「学童保育は児童館事業の一環して位置づける」と打ち出す</p> <p>◇職員正規化運動始まる</p> <p>◇校庭に初めてプレハブ施設ができる (この年、丸山に続き、新井、沼袋にも建設される。東京でも初めてのもの)</p> <p>◇おやつ代区負担15円→18円となる</p>
<p>◇地区児童館のあり方検討</p> <p>①集団指導、個別指導のあり方 ②住民へのPR、参加促進、ボランティア ③地域団体との連絡協議の場を作り、住民意見を活動に反映させ、他児童福祉機関と連携をとる ④社会情勢に適応した児童館活動</p> <p>◇区内を南北2ブロックに分け館長2名に</p> <p>☆昭和児童館開館 ☆仲町児童館開館(保育園併設)</p>	<p>◇学童保育事業が児童館へ移管 (6クラブが児童館内へ、他はそのままの施設で実施 今後建設する児童館には、100㎡の学童保育室を併設する事とし、既設の児童館には3ヶ年計画でプレハブや増築等により整備)</p> <p>◇「学童クラブ」に改称</p> <p>◆指導員が正規職員となる(1名)</p> <p>◇登録児童数平均10名程度</p> <p>◇おやつ代区負担18円→20円となる</p>
<p>◇3ヶ年計画で毎年3児童館建設を計画</p> <p>◇児童館で実施している巡回保育を「幼児グループ」と改称</p> <p>◇児童厚生職での職員採用が始まる</p> <p>◇組織改正 (厚生部廃止→児童部児童課)</p> <p>☆大和西児童館開館(母子アパート1F) ☆桃が丘児童館開館(保育園併設)</p>	

年度	社会・子ども文化	国・都の動き	区・議会の動き
49	<ul style="list-style-type: none"> ◇ウォーターゲート事件 ◇金脈問題で田中首相辞任 三木内閣誕生 ◇長島引退 ◇高校の進学率 90%を超える ◇子ども電話相談室 ◇エクソシスト(映画) ◇ジグソーパズル ◇マジンガーZ玩具 	<ul style="list-style-type: none"> ◆地区児童館設置運営要領 《児童館における学童保育 の位置付けが明確化》(都) 最低規模330㎡以上となる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆特別区制度と その運営について 《住区協議会と地域センタ ー構想の提案》 中野区特別区制度調査会 ◇陳情(北原)「学童保育 について」 ◇請願(連協準備会) 「学童クラブの設備等 の充実について」
50	<ul style="list-style-type: none"> ◇ベトナム戦争終結 ◇GNP初のマイナス成長 ◇男女平等に関する 世論調査 ◆平均世帯人数3.48人 核家族世帯比64% 出生率千人当たり17.1人 ◇離婚12万件と史上最高 ◇学習塾ブーム ◆青少年犯罪増加 暴走族 ◇ジョーズ(映画) およげたいやきくん(歌) まんが日本昔話(テレビ) ゴレンジャー(テレビ) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇地域にねざした児童館活動 全国社会福祉協議会 ◇地方自治法改正 (区長公選制) ◇学童クラブ運営費補助 児童館外新設学童クラブ の指導員非常勤化(都) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆上鷺宮区民館開設 (その後上鷺宮地域セン ターに・地域センター 第1号) ◇請願 「学童クラブ育 成室について」 ◇陳情 「仮称多田児童館 建設促進について」
51	<ul style="list-style-type: none"> ◆国際児童年(国連) ◇ロッキード疑獄事件 ◇福田内閣誕生 ◇戦後生まれ人口の半数 ◇中流意識国民の90% ◇カラオケブーム ◇ポルノ雑誌自動販売機 追放運動 ◇ピンクレディー (アイドル) ◇まことちゃん(マンガ) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇都市児童健全育成の実施 (国) ◇地域社会にひらかれた児童 相談所の在り方について (児童館での児童相談機能 の充実を要請) 都児童福祉審議会 	<ul style="list-style-type: none"> ◇請願 「文園児童館の早 期着工について」 ◇請願(連協)「学童保育 の制度化を国に要求し 学童保育事業の延長に ついて」 ◇請願 「若宮・上鷺宮地 域の児童館および学童 クラブ室建設について」 ◇請願 「塔山地域の児童 館および学童クラブ室 建設について」 ◇請願 「上高田地域の児 童館および学童クラブ 室建設について」

児童館	学童クラブ
<p>◇3ブロック館長3名</p> <p>☆沼袋西児童館開館（保育園併設） ☆江古田児童館改築</p>	<p>◇学童クラブ担当職員2名となる ◇登録児童数平均20名弱程度 ◇おやつ代区負担20円→30円となる</p>
<p>◆地域センター構想開始 （児童館が地域センター所管となる事に対し職員間で議論、区民部、企画課との話し合いも行われる。武蔵台児童館が最初に上鷺宮区民館の所管となる）</p> <p>◆地域センター構想における児童館 「子どもの施策について地域性の強いものを地域の母親や子どもたちとともに考え実施することにより地域での統合化を図る。子どものための諸施策を住民の活動や他の施策と結び付け、幅広い展開を図る。このため児童館は地域の子どものセンターとして地域センターに直結し、公園や児童遊園、ちびっ子広場などについても一体的に運営して行く。」</p> <p>◇児童館建設への住民参加が課題に （みなみ児童館建設に伴う問題より）</p> <p>◇6ブロック館長6名</p> <p>☆鷺宮児童館開館 ☆西中野児童館開館</p>	<p>◇障害児受け入れ実質的開始 ◇入会希望者40名を超えるクラブ現れる ◇「中野区学童保育父母会連絡協議会」 正式に発足 ◇おやつ代区負担30円→40円→50円となる</p>
<p>◇7ブロック館長7名</p> <p>☆みなみ児童館開館 ☆丸山児童館開館 ☆若宮児童館建設について地域住民参加 （若宮、白鷺地域に児童館をつくる会）</p>	<p>◇学童保育検討会が発足 （学童保育については法的根拠も明確になく中野区においても規定するものが運営要綱のみである。女性の就業率増加、学童保育への認識の高まりに伴い、学童クラブへの需要も増加傾向にある。財政事情の悪化、地域センターへの移管など、状況の変化により従来のクラブ運営形態では対処が困難となった。そこで、クラブの現状と問題点を整理し、あり方を検討する。）</p> <p>◇対象学年延長について父母にアンケート</p>

年度	社会・子ども文化	国・都の動き	区・議会の動き
52	<ul style="list-style-type: none"> ◇青酸コーラ事件 ◇平均寿命世界第一位 男72.69歳 女77.95歳 ◇ニューファミリー ◇自殺の低年齢化 ◇男子も保育資格者に ◇テレビゲームの流行 ◇渚のシンドバット(歌) ◇宇宙戦艦ヤマト(マンガ) ◇ルパン三世(テレビ) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇小中学校新学習指導要領 「ゆとり」 	<ul style="list-style-type: none"> ◇一般質問(小沢議員) 学童クラブの今後のあり方について ◇請願 「中央二丁目地内児童館並びに学童保育室建設について」
53	<ul style="list-style-type: none"> ◇日中平和友好条約締結 ◇大平内閣誕生 ◇世界初の試験管 ベビー誕生(英国) ◇不確実性の時代 (ガルブレイス) ◆原っぱ文化の崩壊 ◇熱中時代(テレビ) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇児童館の設置運営について 《小形児童館・児童センターに体力増進機能が新たに加わる》 	<ul style="list-style-type: none"> ◇請願 「学童保育の事故補償、施設の増設と指導員の増員について」 ◇請願 「上鷺宮小学校区の学童クラブ設置促進について」 ◇陳情 「中央一丁目内児童館・チビッコ広場等建設について」 ◇請願 「中央野方小学校区内児童館建設について」
54	<ul style="list-style-type: none"> ◇国際児童年 ◇第二次オイルショック ◇国公立大共通一次試験 ◇三年B組金八先生 (テレビ) ◇インベーターゲーム ◇怪獣消しゴムの流行 	<ul style="list-style-type: none"> ◇鈴木都政誕生 ◇東京の子どもたちの明日を考えるー国際児童年にあたっての提言 都児童青少年施策懇談会 	<ul style="list-style-type: none"> ◆青山区政誕生 ◇陳情 「学童保育の制度化を求める意見書の提出について」 ◇請願 「児童館、学童クラブの増設並びに学童クラブ職員の増員について」 ◇請願 「上高田小学校区域内児童館及び学童クラブ室建設について」 ◇請願 「上鷺宮学童クラブ室建設について」
55	<ul style="list-style-type: none"> ◇イラン・イラク全面戦争 ◇国際婦人年 ◇鈴木内閣誕生 ◆出生率千人当たり13.6人 ◇離婚14万3千件史上最高 ◆校内暴力 家庭内暴力 問題化 (金属バット事件) ◇クレイマー クレイマー (映画) ◇ルービックキューブ 大流行 	<ul style="list-style-type: none"> ◇東京都青少年非行問題 対策委員会発足 	<ul style="list-style-type: none"> ◆中野区基本構想策定 ◇請願 「上鷺宮小学校区内、児童館建設について」 ◇請願 「東中野小学校区域内児童館建設と東中野学童クラブ室クーラー設置について」 ◇請願 「中野神明学童クラブの保育内容の充実ならびに拡充について」

児童館	学童クラブ
<p>☆大和西児童館改築 ☆文園児童館開館</p>	<p>◆学童保育検討会報告が出される ①「中野区学童保育事業運営要綱」改正案 ②「中野区学童保育指導要領」案 ③対象 3年生までとし、4年生は特に必要と認められる場合のみ ④障害児受け入れ ケースバイケース ⑤定員 施設ごとに定める ⑥保育時間 現行どおり ⑦おやつ代 保育料とは別扱い ◇入会希望者50名を超えるクラブ現れる ◇登録児童数平均30名程度</p>
<p>◇組織改正 (施設関係は児童青少年部児童青少年課、運営は地域センター部各地域センターとに分れる。センターが無い児童館はセンター部調整課が所管) ◇職員事務連絡会廃止 ◇「職員研究会実施要領」ができる</p> <p>☆若宮児童館開館</p>	<p>◇「中野区学童保育事業運営要綱」改正 ◇学童クラブ父母会主催宿泊キャンプについての職員参加の取り扱い(職務免除扱い)</p>
<p>◆全児童館が地域センター移管を終える (施設・運営ともに地域センター部の所管となる) 児童館の調整機能はセンター部調整課 1センター1館長となる(青少年主査が兼務)</p>	
<p>◇融合施設についての論議 (みずの塔ふれあいの家建設について)</p> <p>☆弥生児童館開館</p>	<p>◇学童保育事業検討PT発足 (おやつ代の取り扱いと、学童保育の需要増大に伴う今後の見通しと対応策、基本的な方向を探る) ◇おやつ代検討PT発足 (おやつ代保護者負担の実施について検討開始)</p>

年度	社会・子ども文化	国・都の動き	区・議会の動き
56	<ul style="list-style-type: none"> ◇国際障害者年 ◆中野区で全国初の教育委員準公選 ◇離婚・家出の増加 ◆非行青少年の増加 ◇Drスランプ(マンガ) ◇機動戦士ガンダム 	<ul style="list-style-type: none"> ◇今後のわが国家庭児童福祉の方向性について 中央児童福祉審議会 ◇すこやかでしなやかな自我の形成をー東京都における青少年非行とその対応の基本的方向 都青少年健全育成推進本部 	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域センター及び住区協議会構想推進委員会発足 ◇請願 「野方小学校通学区域内児童館建設について」 ◇請願 「中野区桃園学童クラブの施設の充実について」
57	<ul style="list-style-type: none"> ◇フォークランド紛争 ◇中曽根内閣誕生 ◆出生率史上最低 ◇離婚数史上最高 ◇E・T(映画) ◇積み木くずし(流行語) ◇チョコQ(おもちゃ) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇東京都青少年健全育成推進本部設置 ◇特別区児童問題審議会設置 	<ul style="list-style-type: none"> ◇区政50周年記念 ◇「憲法擁護 非核都市宣言」 ◇請願 「上高田小学校区域内の児童館および独立した学童クラブ建設について」
58	<ul style="list-style-type: none"> ◇大韓航空機墜撃事件 ◇三宅島噴火 ◆戸塚ヨットスクール事件 ◆中学生の浮浪者襲撃事件 ◆10代の妊娠中絶史上最高 ◆出生率史上最低 ◆離婚数史上最高 ◇いいとも(流行語) ◇ファミコン発売開始 	<ul style="list-style-type: none"> ◇東京都における青少年健全育成のための行動計画作成にあたっての基本的考え方と施策の方向についてー自立と参加のユースコミュニティを(答申) 東京都青少年健全育成推進本部 ◇すこやかテレホン事業実施(国) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇「中野区の中学生を考える」青少年問題協議会 ◇請願 「大和小学校区域内学童クラブの増設および入所基準の緩和、クラブ指導員の定員増について」
59	<ul style="list-style-type: none"> ◇ロサンゼルスオリンピック ◇グリコ・森永事件 ◇離婚による母子世帯が死別によるものを上回る ◆子ども人口過去最低(15歳未満2668万人総人口の22.8%) ◇ピーターパン症候群(流行語) ◇働く主婦50.3% ◇風の谷のナウシカ(映画) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇家庭における児童養育の在り方とこれを支える地域の役割(意見具申) 中央児童福祉審議会 ◇子ども家庭相談事業の実施要領策定(国) ◇乳幼児健全育成相談事業の実施策定(国) ◇児童の遊びと健全育成ー遊びと児童館を中心として(答申) 特別区児童福祉問題審議会 	<ul style="list-style-type: none"> ◇「続・中野区の中学生を考える」(児童館を中学生の活動の場に、閉館時間の変更を) 青少年問題協議会 ◇みずの塔ふれあいの家 条例

児童館	学童クラブ
<ul style="list-style-type: none"> ◇児童館合同行事の考え方が決定－所長会 (全館合同→年一回 地域的合同→回数指定無し) ◇融合施設の建設について住民との話し合いが始まる (みずの塔ふれあいの家) ◇地域センター検討PT発足 (目的→地住構想委員会に部としての提言をする) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆学童保育事業検討PT報告 <ul style="list-style-type: none"> ①入会措置基準表作成 ②施設規模と定員(100㎡40人) ③学校区エリアの廃止(保護者の希望するクラブへの入会が可能になる) ④障害児受け入れの施策を充実 ◇おやつ内容検討会発足 (おやつ代検討PTをうけて) ◆おやつ代保護者負担開始 (月額1250円)
<ul style="list-style-type: none"> ◆「児童館の館外活動実施要領」 ◇代替職員配置基準試行 ◇区政50周年記念タイムカプセル (各児童館の子どもたちの作品 50年後に開封予定) ★かみさぎ児童館開館 (開館準備委員会が、区内初の児童館運営協議会へ移行) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆入会措置基準できる
<ul style="list-style-type: none"> ◆地住構想推進委員会報告 (地域の子どもセンターとしての機能を打ち出す) ◇育成者貸出用キャンプ用品購入計画 (各地域センター内の児童館に貸出用として年次計画で62年度までに整備する) ◇健全育成講座開始 ◆巡回保育3歳未満児対応開始(運用) ☆代替職員配置基準本格実施 ☆塔山児童館開館 	
<ul style="list-style-type: none"> ◆児童館運営指針検討会発足 児童館職員研修体系整備検討会発足 児童館の器材貸出検討会発足 日曜日運営改善検討会発足 (地住構想推進委員会報告をうけて) ☆野方児童館開館 (中野区で初めて児童館に非常勤の体力増進指導員が入る) ★みずの塔ふれあいの家開館 (児童館機能と老人会館機能の融合施設) ◇児童館主査が調整課→婦人青少年課に 	

年度	社会・子ども文化	国・都の動き	区・議会の動き
60	<ul style="list-style-type: none"> ◇男女雇用機会均等法成立 ◇日航機墜落事故520人死亡 ◆いじめ・登校拒否激増 校内暴力沈静化 ◇ミニ四駆の流行 	<ul style="list-style-type: none"> ◇こどもの城開所 (財団法人児童手当協会) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆保育基本計画策定 ◇請願 「谷戸学童クラブ 増設・増員について」
61	<ul style="list-style-type: none"> ◇チェルノブイリ原発事故 ◆いじめ苦自殺 (中野区立富士見中) ◇ビックリマンチョコ流行 ◇ドラゴンクエスト (ファミコン) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇社会的不適応を示す思春期 児童の処遇と自立への援助 の在り方について (意見具申) 東京都児童福祉審議会 ◇地区児童館設置運営要綱 (49年)の全部改正 	<ul style="list-style-type: none"> ◆神山区政誕生 ◆請願 「巡回保育の存続 を求めることについて」
62	<ul style="list-style-type: none"> ◇エイズ問題 ◇竹下内閣誕生 ◇円高不況 低成長時代 ◇報道番組ラッシュ ◇ジャパンマネー (流行語) ◇ベビーホテル実態調査 6割が基準に不適合 ◇光ゲンジ(アイドル) ◇マルサの女(映画) ◇スケートボードの流行 	<ul style="list-style-type: none"> ◇東京都母親クラブ 連絡協議会発足 	<ul style="list-style-type: none"> ◇一般質問(三浦議員) 昭和児童館の改築 について ◇一般質問(大月議員) 巡回保育について ◇請願 「千代田公園・パ ンダ公園の存続を求め ることについて」 ◇請願 「上高田地域の巡 回保育の存続を求め ることについて」 ◇請願 「千代田公園・パ ンダ公園の巡回保育の 3歳児対応について」 ◇陳情 「巡回保育実施要 領の募集対象年齢につ いて」 ◇陳情 「中野区保育基本 計画の一部見直しにつ いて」

児童館	学童クラブ
<p>◆第一回中野区児童館まつり （囲町公園と中野体育館にて）</p> <p>◇開館時間の延長 （9:00～4:30→9:00～5:00）</p> <p>◇「中野区立児童館防災計画」</p> <p>◇日曜日運営改善検討会報告</p> <p>◇児童館3歳未満児対応検討会発足</p>	
<p>◆児童館3歳未満児対応検討会報告 （児童館で月2回程度の場の設定）</p> <p>◇児童館乳幼児対応検討会発足</p> <p>◇児童館器材貸出検討会報告 児童館職員研修体系整備検討会報告</p> <p>◇児童館の調整機能は地域センター部婦人青少年課</p>	<p>◇学童クラブ障害児問題検討会発足 （児童館事業の中でなお一層の啓発と交流を図って行くことを求められ障害児の受け入れをどう考え整備をして行くかが課題）</p>
<p>◇第二回中野区児童館まつり</p> <p>◆地域育児相談事業開始 （保健所と共催）</p> <p>◇児童館運営指針起草委員会（11月→2月）</p> <p>◆乳幼児グループ事業検討会発足 （巡回保育事業について検討するとともに中野区の在宅乳幼児親子への施策、基本的考え方を明確化していく）</p> <p>◇児童館乳幼児対応検討会報告</p> <p>◇職員労働時間短縮 46時間勤務4週5休 児童館学童クラブ→ローテーション勤務</p> <p>☆朝日が丘児童館改築 ☆南中野児童館改築（福祉作業所併設）</p>	<p>◆学童クラブ障害児問題検討会報告</p> <p>①職員配置 障害の程度や障害児数によって必要数を配置</p> <p>②施設・設備の改善</p> <p>③職員研修の必要</p> <p>④他機関との連携</p> <p>⑤スーパーバイザー的職員をセンター部に配置必要</p>

年度	社会・子ども文化	国・都の動き	区・議会の動き
63	<ul style="list-style-type: none"> ◇リクルート疑獄事件 ◆子ども人口二割をわる (19.9%) ◇高校中退者過去最高 (11万6000人) ◆子どもの人権110番 相談に「いじめ」トップ ◇ドラゴンボール(マンガ) ◇ドラゴンクエスト現象 社会問題化 		<ul style="list-style-type: none"> ◇「地域グラフィティ」 地域センターで取り組む ◇陳情 「北原児童館設置について」 ◇陳情 「児童館の勤務時間短縮及び日曜日の運営のあり方について」
64 平成 元年	<ul style="list-style-type: none"> ◆「子どもの権利に 関する条約」(国連) ◇天安門事件 ◇天皇崩御 ◆合計特殊出生数過去最低 (1.57人) ◇オバタリアン セクハラ (流行語) ◇ゲームボーイ発売開始 ◇BB弾ピストルの流行 	◇地区児童館設置運営要領 (61年)の一部改正	<ul style="list-style-type: none"> ◇一般質問(岩長議員) 保育園・学童クラブの 労働時間短縮での実情 と今後の対応について ◇請願 「パンダ公園巡回 保育の継続について」 ◇請願 「巡回保育実施公 園の一部廃止について」 ◇陳情 「学童クラブの土 曜日の運営と日曜日の 児童館のあり方につい て」
2	<ul style="list-style-type: none"> ◇東西ドイツ統一 ◇バブル経済の崩壊 ◆登校拒否児童史上最多 (4万7258人) ◇ちびまる子ちゃん (テレビ) 	◇児童館の設置運営について 策定 (63年)の廃止	<ul style="list-style-type: none"> ◇陳情 「土曜日の学童ク ラブの運営について」 ◇中野区長期計画 「中間のまとめ」区民発表
3	<ul style="list-style-type: none"> ◇湾岸戦争 ◇ソ連共産党解体 ◇宮沢内閣誕生 ◇一世帯人数2.95人 ◇カラオケボックスの流行 	<ul style="list-style-type: none"> ◇児童館の設置運営について (平成2年)の一部改正 ◇放課後児童対策事業 実施要綱策定(国) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇請願 「新山学童クラブ 定員増の対応について ◇陳情 「学童クラブの運 営について」

児童館	学童クラブ
<p>◆児童館運営指針検討会報告→発行 ◇児童館運営指針マニュアル検討会発足 ◆乳幼児グループ事業検討会報告 ◆巡回保育検討会発足→報告 ①「新しい巡回保育」の提言 ②要綱改正 3歳未満児が正式な対象者に ◆「中野区児童館ステージ27選」始まる</p> <p>☆上高田児童館開館（図書館併設）</p>	<p>◇学童クラブ父母会主催の宿泊キャンプへの対応について （派遣形態の明確化の必要性から取り扱いを定める、出張扱いとなり派遣内容は、クラブ以外での子どもの様子の把握等とした）</p>
<p>◆職員労働時間短縮 42時間勤務+超過勤務 児童館→第2・4（5）日曜日の休務 学童クラブ→ローテーション ◆卓球開放始まる （職員休務の第2・4日曜日） ◆「巡回保育」が「巡回児童館」へ改称 （要綱改正・児童館活動の一環となる） ◇乳幼児対応は全館月2回の本格実施。地域実情により、実施回数を増やすことが望ましい。 ◇児童館運営指針マニュアル発行 ◇婦人青少年課に児童館係、児童館調整が ◇昭和児童館改築</p>	
<p>◆移動児童館及び特別行事実施基準 （運営指針に基づき基準を整備） ①移動児童館→年3回程度 子どもたちの来館が別な場で保証される規模 ②宿泊活動→館内宿泊が許可 ③合同行事→館数、回数、内容の限定解除 ◇宿泊活動4館で実施 ◇婦人青少年課→女性・青少年課 ◆職員労働時間短縮 42時間勤務 児童館→第2・3・4（5）休務 学童クラブ→超過勤務ローテーション継続 ◇時短検討会発足</p>	
<p>◆乳幼児対応について （3歳未満児対応については月4回、実施方法は地域の状況に応じて行う） ◆活動実践交流会始まる</p> <p>☆仲町児童館改築</p>	<p>◆「学童クラブあり方懇談会」開始</p>

2 活動状況

	まつり えんにち フェスティバル等	おぼけ大会等	デーキャンプ 小屋作り	製作・料理等	鑑賞等	ゲーム大会 集団遊び等
黎明期 S41年 から 46年 まで	<ul style="list-style-type: none"> ◆こども緑日 ・季節に応じて夏まつりなどの名称で取り組む ・手作り緑日などが多い ・こどもは当日参加、実行委員形式ではなかった 	<ul style="list-style-type: none"> ◆おぼけ大会 ・怪奇大作戦、ミステリーゾーンなどの名称で取りくむ(43年～) ・高学年のこども手伝う 	<ul style="list-style-type: none"> ◆デーキャンプ ・地域こども会と共催で2館ほど実施(44年～) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆クラブ活動 ・絵画、版画クラブ、折り紙クラブなど技術をもった館長・職員が講師 ◆おべんとうを食べる会 ・作ることより食べるのが主 ◆日常活動 ・編み物人気有り ・緑日の品物作りへと発展 ・遊具や飾りなどこどもと作る 	<ul style="list-style-type: none"> ◆映画会 ・職員映写技師の資格をとる ・5/5の子供の日映画会はテレビ局よりフィルムを借用 ◆文庫活動始まる ・新井薬師開館時地域より「きりん文庫」活動の希望あり実施 ・内容は本、紙芝居の読み聞かせなど 	<ul style="list-style-type: none"> ◆クリスマス会 ・ゲームなど中心 ◆00おたのしみ会 ・季節的なものが多い ・ゲーム、フォークダンスなど ・プレゼントなどあり ・参加者多かった
創造期 S47年 から 53年 まで	<ul style="list-style-type: none"> ◆盆おどり、こども緑日 ・地域との共催で実施が多い(47年) ◆文化祭 ・実行委員形式で取り組む ・毎日作品作り楽しむ(48年) ◆〇〇市 ・交換市など緑日的内容 ◆フェスティバル、カーニバルなど名称いろいろ ・実行委員での取り組みがほとんど ・9、10、11月に集中して実施 ・実施館15～16館 ★活動の特徴 こども中心の取りくみに力を入れながら、地域への働きかけも積極的だった 	<ul style="list-style-type: none"> ◆おぼけ大会 ・実行委員での取りくみが主 ・内容も趣向を凝らし怖さを競う(蛍光塗料、こんにゃくなど使用) ・実施館6～7館 ・7月～8月の暑い時期に実施 クーラーもなく汗だくで取り組む ・大好評。参加者長蛇の列 おぼけをよぼう ・内容は職員の怖い話いろいろ 	<ul style="list-style-type: none"> ◆デーキャンプ ・実施館6～8館 ・7～8月に実施 ◆宿泊キャンプ(武蔵台、丸山)(52年) ◆父母会行事「宿泊キャンプ」の関わり ・学童クラブ日常活動の中で準備を取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ◆制作活動 ・ネーミングいろいろ ・定例行事が多い ・制作費少なく、安く、楽しくが課題 ・廃品利用の工作ペーパークラフトなど ◆作って食べよう ・おべんとう会、やきいも会、おしるこ会など ◆8ミリ映画作り ・高学年対象 ・映写機は借り、音響器材は自前 ・館内で発表する 	<ul style="list-style-type: none"> ◆映画会 ・名画などの上映もあり人気上がる(チャップリン、鉄道員) ・定例になり次回を楽しみに待つ姿もみられた ◆朗読の会 ・ボランティアによる読み聞かせ ・月1回の定例行事となる 	<ul style="list-style-type: none"> ◆00こども会、00ゲーム会 ・夏休み、新年クリスマスなど季節の行事として取り組む ・スイカ割り、フォークダンス、ゲームなど中心 ◆オセロ大会 ・オセロ大人気 ◆ジュニアリーダーと遊ぼう ・ジュニアリーダーの中学生の活動の場 ・集団遊び、手品など ◆1年生歓迎会：おわかれ会 ・学童クラブの恒例行事として実施 ・父母と共に取り組むところも出てきた

スポーツ大会等	発表・展示等	ウォークラリー等 (地域内)	その他	館外活動等 (主に区外)	合同行事
<p>◆卓球講習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区卓球連盟の講師に指導してもらう ・中学生、高校生が小学生に教える姿などもみられた <p>◆竹馬会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のお年寄りの指導のもと、作って遊ぶ <p>◆ドッチボール、たこあげ、ボウリング、なわとび会など</p>	<p>◆展示会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの作品や児童館の利用状況をグラフにしPRのため遊園に展示(46年) <p>◆おたのしみ会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリスマスの会を子どもの発表の場とする 		<p>◆日常活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卓球台が入り中高学年、中学生の来館多くなる ・平日の来館少ないが、行事になると大勢集まる ・障害児との交流もあった <p>◆もちつき会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おすもうさんをよんだ 		<p>◆夏季児童クラブ(巡回保育と合同)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5才～小2まで対象 ・絵画クラブ、音楽クラブなど
<p>◆野球大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・48年～52年実施館多い ・各館単位のとりくみ ・高学年、中学生から希望がおおかった <p>◆野球連盟に審判を依頼したり、賞品に凝ったりといろいろ苦勞の跡が伺える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームごとの申し込み、参加チーム多かった <p>◆少年すもう大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ズボンの上からまわしをし、子どもたちはずかしそうだった <p>◆体力測定</p> <p>◆マラソン大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方やボランティアでコースの安全確保 <p>◆ソフトボール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女子のチームもでき活躍 	<p>◆子ども歌謡祭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このころ流行の歌まねで盛りあがる <p>◆演劇発表会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラブ発表 ・落語、漫才 <p>◆バンド発表会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生高校生の活動の場 ・近隣からの苦情への対応に苦勞しながら実施 <p>◆高校生サークル発表会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人形劇サークルの発表の場 ・日常子どもたちとの交流が続く ・行事のボランティアとしても活躍 	<p>◆児童館追跡ハイク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近くの児童館へのスタンプラリー(49年) 	<p>◆子ども運営委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こどもの意見希望を聞く ・オリエンテーリング、館外活動を望む声があがった <p>◆親子活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3才未満親子を対象に“母さんと一緒”“よっといで”など児童館主体で実施 <p>◆中学生、高校生の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中高生の来館も多く、自分達の楽しみも実現しながら、ボランティア的役割も果たしていた <p>◆農園栽培</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さつまいもを育て、焼き芋や料理を楽しむ <p>◆もちつき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おすもうさんを呼んで実施 	<p>◆オリエンテーリング(17館実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館外に出られるようになり各館で取り組む ・内容も物語を設定し冒険や夢のあるものなども考えた ・中高生実行委員として活躍 <p>★館外活動がさかんに行われた時期で内容も飯ごう炊飯、山登り、川遊びなど実施されていた。</p>	<p>◆合同卓球大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・47年ごろは2～3館での合同だったが、50年には全館合同で実施 ・各館の卓球熱がますます上がる <p>◆合同ドッチボール大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対抗試合多くなる(53年)

	まつり えんにち フェスティバル等	おぼけ大会等	デーキャンプ 小屋作り	製作・料理等	鑑賞等	ゲーム大会 集団遊び等
発 展 期 S 54 年 か ら 58 年 ま で	<p>◆まつり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・15～16館で実施 ・地域まつりの一環として取り組むところも多かった ・学童クラブも企画から参加するところも多くなった ・幼児のお母さんもコーナーを出すなど参加が増える ・実行委員活動は前半活発、後半活動時間が持ちにくくなる ・まつりの中に文化祭、芸能祭の要素取り入れる ・おとなの参加も増える ・中学生を目線にいたまつりの取り組みも試みられた 	<p>◆おぼけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6～9館恒例行事となる ・夏の実施館多いが、春の取り組みもみられる ・実行委員は張りきって参加 ・地域の中で子ども達の活動が目される 	<p>◆小屋作り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・54年から始まり3館で実施 ・作って遊ぶという企画がなされこどもの要求にマッチした内容となる <p>◆デーキャンプ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施館11～12となる ・地域の協力もあり、よるのキャンプファイヤーなどにぎやかに実施 	<p>◆制作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例の行事として定着 ・陶芸などもとりいれる ・地区まつりなどに作品を出展し館のPRをする <p>◆料理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クッキングクラブなども実施 ・各館料理活動盛かんになる <p>◆招待デー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学童クラブの行事として、クラブ児以外の子を招待、おやつをつくって一緒に食べたり遊んだりという行事なども取り組まれる 	<p>◆おはなし会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアによる実施館多い ・よみきかせ、人形劇、ペープサートなど <p>◆人形劇</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロの劇団を呼んで実施(1館) ・学生ボランティアで実施(2館) ・幼児グループのお母さんがたの自主活動など(そら豆劇場等) 	<p>◆ゲーム会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将棋などで世代間交流なども見られる <p>◆集団遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に取り組まれることが多くなった <p>◆ギネス オリンピック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工夫を凝らした内容の取り組みがみられる
検 討 期 S 59 年 か ら 63 年 ま で	<p>◆まつりの特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来の緑目的なものからディスコなど新しい企画もみられる ・地域まつりの一環としての取りくみもふえる ・実施回数も32回と多くなる ・ボランティアの活躍も増える ・ステージ27選と同時取り組みもみられる 	<p>◆おぼけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・100～300人規模の参加あり ・3月、12月実施の館もある ・11～17館で実施 ・実行委員の活躍おおしく内容も本格的 ・おぼけ+迷路の組み合わせもあった 	<p>◆小屋作り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施館7館となる ・小屋作り+デーキャンプの組み合わせ(3館) <p>◆デーキャンプ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画から子どもと一緒に取り組む ・ボランティアの活躍 ・乗作り乗かけキャンプなどもでてきた 	<p>◆8ミリ映画製作(1館)</p> <p>◆制作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇教室の名称が多い ・定例的に実施の館増える <p>◆料理活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・棒パン、焼き芋うどん、お菓子など ・クッキングクラブなど定例のものなど 	<p>◆おはなし会 映画会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例で実施 <p>◆劇場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人形劇、寄席など ・大学生のボランティアによる定期公演などもあった 	<p>◆ゲーム大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おたのしみ会や～パーティーなどのなかでの取り組み ・行事名など工夫を凝らす <p>◆集団遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な取り組みが多い ・王様陣屋が人気 ・中、高校生も参加、盛り上がる ・毎日一定時間集団遊びタイムとして実施の館あり

スポーツ大会等	発表・展示等	ウォークラリー等 (地域内)	その他	館外活動等 (主に区外)	合同行事
<p>◆手作りアスレチック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人実行委員の手作り ・実施後しばらく遊園で遊ぶ <p>◆ギネス大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツが得意なだけでなく年齢、性別に関係なく楽しめる種目で実施 <p>◆日常活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すもう、ソフト卓球、野球、ドッチボールなどおこなわれた ・定例行事として卓球、ドッチボールなど定着 <p>◆ドッチボール大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童館合同、学童クラブ合同それぞれ盛んに行われる 	<p>◆作品展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アニメなどの作品も展示 ・地域の大人の参加が大きい <p>◆文化劇場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学生ボランティアによる人形劇 ・学童クラブの劇など <p>◆サタデーコンサート</p>	<p>◆オリエンテーリング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施館6館 ・館外や町内一周など実施場所いろいろ 	<p>◆中学生対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この時期中学生むけの行事多い ・ハイキング、オリエンテーリングなどの実行委員などで活躍 ・毎日中学生タイムを設け、卓球ゲームなど実施の館もある(5:00~5:30) <p>◆ゲームウォッチ大流行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こどもの自由時間がこまぎれになり少しの時間で楽しめるものとして、こどもが児童館の持ってきて遊ぶ姿がよく見られる <p>◆クラブ活動盛ん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クッキング、マング卓球など <p>◆健全育成講座始まる</p>	<p>◆活動の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年7~12館実施 ・山登り、オリエンテーリング、つり、飯ごう炊飯など目的様々 ・フィールドアスレチックなど施設利用などを目的とした活動も出て来た <p>◆追跡ハイク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館外で行うことが多い 	<p>◆学童クラブの合同行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南北それぞれ7~8館ほど集まって実施 ・ドッチボール、集団遊びなど <p>◆5館合同行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドッチボール、卓球などの合同 <p>◆その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツでの合同が多い
<p>◆サッカー大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども間で人気 ・チームメンバーを子どもたちで集めさせた <p>◆ゲートボール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世代間交流で実施 <p>◆ユニホッケー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員も講習を受けルールを覚えた <p>◆女子ソフトボール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流試合なども実施 	<p>◆文化祭や地区まつりでの発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品の展示 	<p>◆ウォークラリー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コマ図を作り、近隣のコースを回る ・大人実行委員のお手伝いなどもあった <p>◆オリエンテーリング、追跡ハイク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施件数7~8件 ・平均参加数30~70名 	<p>◆交流行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世代間、国際交流など ・オセロ、料理、将棋など <p>◆チアガール、ジャズダンスクラブ活動盛ん</p> <p>◆大人実行委員会作りも盛ん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もちつき、子ども動物園、料理など 	<p>◆親子ハイク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人の参加も多く規模も大きい <p>◆ハイキング、遠足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取り組み方いろいろ、準備活動でお弁当を作ったり、遊び内容を考える実行委員を組織したりの取り組みもあった 	<p>◆センター内児童館での交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域まつりの一環として実施 <p>◆卓球での交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3館~6館合同 <p>◆中野区児童館まつり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・27館合同で実施

	まつり えんにち フェスティバル等	おぼけ大会等	デーキャンプ 小屋作り	製作・料理等	鑑賞等	ゲーム大会 集団遊び等
転 換 期 日 元 年 か ら 3 年 ま で	<ul style="list-style-type: none"> ◆00まつり、00ラ ンド、00フェス ティバル ・名称いろいろ ・メイン行事とし て取り組む ・秋、冬の実施が 多い ・42件の実施で平 均350人ほどの 参加がある ・子ども実行委員 に加え、大人の 実行委員の組織 も運営協議会を 中心につくられ 参加 ・地区まつりの一 環としての取り 組みや、1部コ ーナーを担当す るなども多い 	<ul style="list-style-type: none"> ◆おぼけ ・季節を問わず実 施（7月、3月、10 月、6月） ・迷路形式多い ・実施館9館～13 館 ・実行委員の参加 多く、生き生き と活動 	<ul style="list-style-type: none"> ◆館内宿泊活動 ・4館で実施 ・バードウォッチ イング、星座観 察などを取り入 れ実施 ・館内1泊が主 ◆小屋作りキャン プ ・デーキャンプと セットで実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆制作活動 ・革細工、陶芸、 リサイクルセミ ナー（消費者セ ンターと共催） ・科学教室、講師 を招いて実施 ◆料理教室 ・国際交流、世代 間交流などを考 えながら実施 ・食べ物の行事多 い 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ステージ27選 ・地域に定着参加 多い（100～200 名） ◆おはなし会、 そら豆劇場の活 動続く 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ミニ4駆レース ・ちまたで大流行 館内でも手作り レース場を作り 実施 ◆ギネス大会 ◆ゲーム会+作っ て食べようの行 事多い

スポーツ大会等	発表・展示等	ウォークラリー等 (地域内)	その他	館外活動等 (主に区外)	合同行事
◆ユニホッケー グランドゴルフ ・講師による実技指導など実施 ・大会、練習など世代間交流をおこなう ◆輪車流行 ◆ビーチバレー、つなひきなども日常活動に取り入れる ◆アスレチック ・館外活動として実施	◆活動の特徴 ・まつり、フェスティバルの中での実施が多い ・親の参加などもみられる ・内容、演芸発表作品展、野の花展など	◆特徴 ・合同行事としての取り組み多くなる ・我がまち再発見など地域での取り組み多い ・ファンタジー的内容での取り組み多い ・まつりの一環として実施の所もあった ・大人の協力、援助が大きい	◆おもちゃの病院 ・技術ボランティア ・実施館4～5館 ◆ミニ四駆流行 ◆運営協議会活動活発 ・主催行事なども実施 ・大型の館行事にはほとんど参加	◆アスレチック ・実施件数が増えてきた ◆スケート ・講師による技術指導 ◆館外活動実施館22館と増えてきた	◆特徴 ・スポーツ的なものに加え27選などの合同もみられる ・センター単位、近隣館、地域子ども会などとの合同

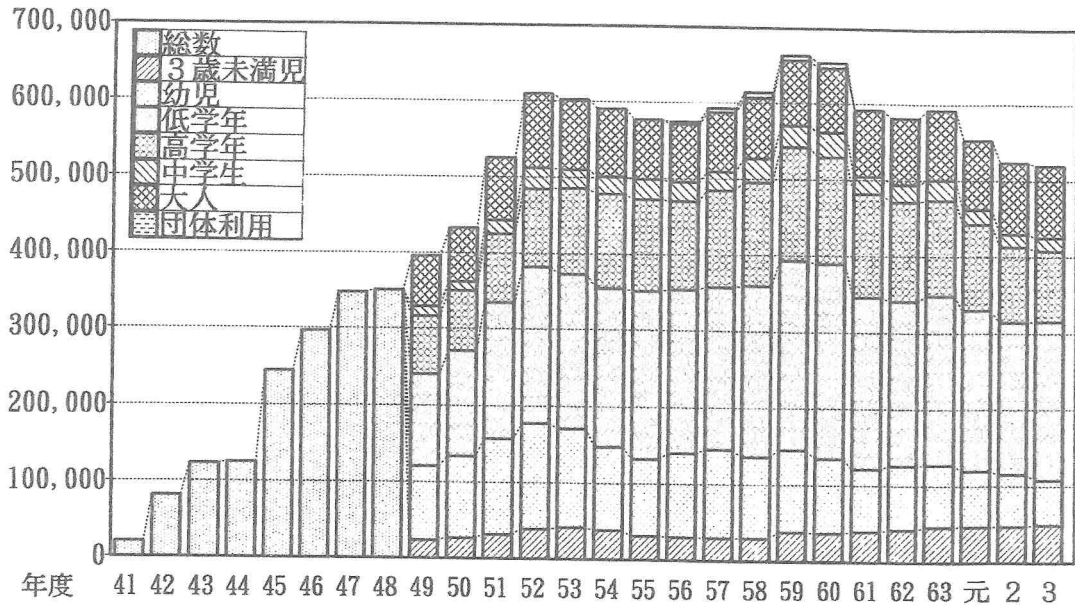
3 利用状況

公立小中学校児童数及び児童館利用者数の推移

年度	小学校児童数	中学校児童数	児童館利用者数 (開館日数)	児童館数	学童クラブ延出席者 (延在籍者数)	巡回児童館参加数 児童数 (籍数)	実施公園数
S41	22,203	9,926	20,499 (281)	2			
42	22,412	9,456	81,334 (294)	5			
43	22,590	8,917	122,864 (294)	6			
44	23,100	8,854	125,484 (296)	7			
45	23,847	8,803	245,490 (296)	10			
46	24,409	9,122	297,413 (294)	11	※		
47	24,606	9,422	347,504 (294)	13	50,878 (85,102)		
48	24,348	9,729	350,110 (294)	15	80,987 (132,454)		
49	24,367	9,844	395,394 (293)	16	105,988 (164,021)		
50	24,600	9,883	432,561 (296)	18	132,277 (198,640)		
51	24,519	9,984	525,145 (294)	20	145,608 (219,201)		
52	24,280	10,125	609,707 (295)	21	166,214 (234,458)		
53	24,015	10,250	602,920 (295)	22	175,900 (246,858)		
54	24,191	9,960	590,013 (295)	22	194,054 (271,155)		
55	24,068	9,957	576,892 (295)	23	211,779 (284,044)		
56	23,190	10,032	574,124 (295)	23	204,219 (278,177)		
57	22,385	10,156	592,618 (295)	24	203,907 (280,697)		
58	21,245	10,104	614,439 (296)	24	205,583 (285,760)		
59	20,285	9,927	664,213 (295)	26	214,820 (304,846)		
60	19,098	10,014	654,485 (294)	26	213,551 (308,573)		
61	17,838	9,814	592,111 (294)	26	211,574 (312,443)		
62	16,841	9,328	581,568 (296)	26	207,846 (307,920)		
63	15,768	8,616	593,152 (293)	27	203,205 (301,287)	※	
H元	15,106	7,622	553,540 (267)	27	204,673 (309,573)	32,095 (25,402)	14
2	14,456	7,065	523,997 (252)	27	200,363 (309,956)	34,276 (28,070)	14
3	13,917	6,605	520,846 (254)	27	202,943 (322,589)	29,013 (25,064)	14

児童館利用者数の推移

(単位：人)



※ S41～48年度は総数のみ

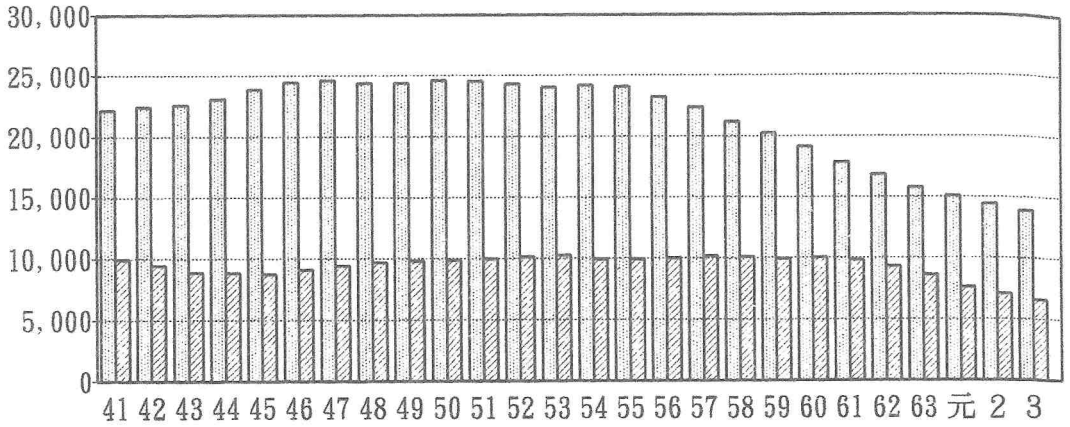
年度	3歳未満児	幼児	低学年	高学年	中学生	大人	団体利用
S49	23,384	97,652	119,480	75,973	12,296	66,609	
50	26,582	106,936	138,799	76,833	12,172	71,239	
51	31,524	125,404	177,750	90,486	17,718	82,263	
52	38,589	138,267	204,103	102,918	28,657	97,173	
53	41,494	128,977	201,415	112,908	25,214	92,912	
54	37,557	110,343	205,575	124,557	23,966	88,015	
55	31,589	100,481	218,886	120,009	26,681	79,246	
56	30,398	110,590	211,875	117,135	24,631	76,231	3,264
57	29,668	115,754	211,241	127,783	25,123	77,906	5,143
58	29,571	106,598	222,945	136,689	31,782	80,346	6,508
59	37,780	108,765	246,043	150,720	27,656	86,248	7,001
60	36,773	98,421	253,786	140,622	32,176	85,171	7,536
61	39,263	83,441	223,896	135,081	23,353	87,077	※
62	41,898	84,581	214,955	129,564	23,263	87,307	※
63	45,646	82,561	220,169	125,718	26,189	92,869	※
元	45,911	74,545	210,269	112,163	19,164	91,488	※
2	46,846	69,178	199,098	98,294	16,924	93,657	※
3	48,113	60,665	206,590	93,585	17,421	94,472	※

※ 61年度以降団体利用の人数は3歳未満児～大人の内訳に含む

公立小中学校児童数

□ 公立小学校児童数
 ▨ 公立中学校児童数

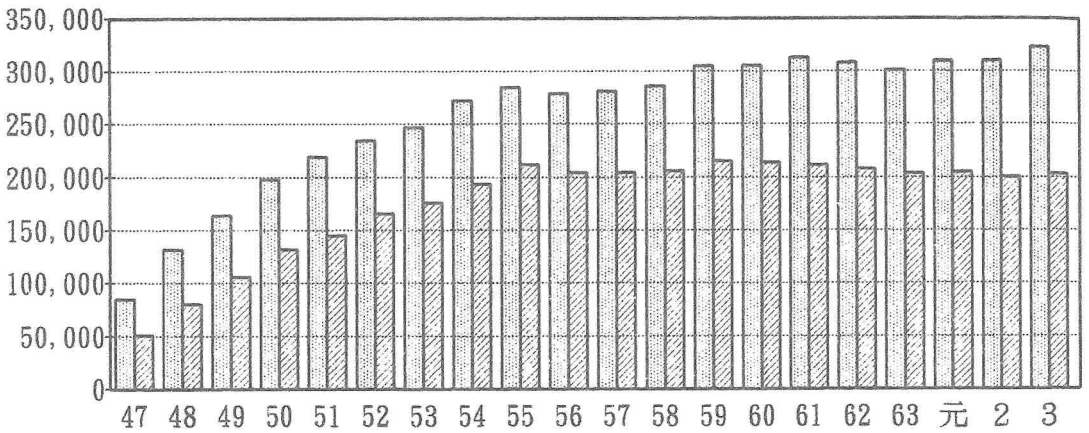
(単位：人)



学童クラブ利用者推移

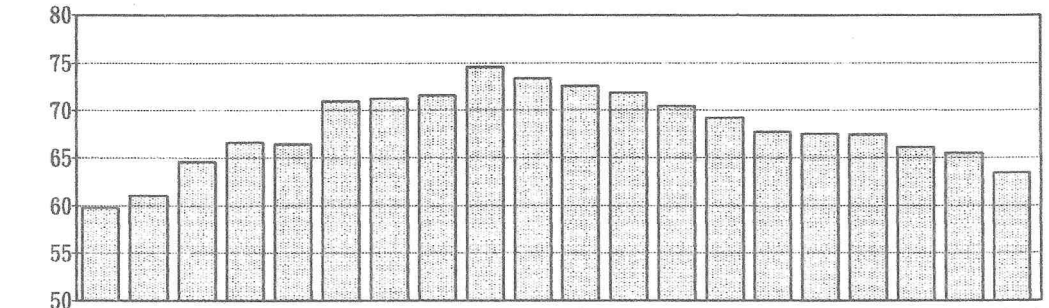
□ 在籍者延べ数
 ▨ 利用者延べ数

(単位：人)



学童クラブ出席率

(単位：%)



出席率	59.8	61.1	64.6	66.6	66.4	71.3	71.6	71.6	74.6	73.4	72.6	71.9	70.5	69.2	67.7	67.5	67.4	66.1	65.5	63.5
-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

4 施設の変遷（児童館）

平5. 1. 31現在

館名	開設年月日	面積㎡	児童館内 学童クラブ	施設の特徴
南中野 (改築)	41. 4. 20 62. 9. 1	191 598.98		(木造) 西洋のお城風・トンネルすべりだい 中野神明東 弥生福祉作業所と併設
橋場	41.10.12	481.28	桃園第三	南部福祉センターの3F・4F
小流遊戯室	42. 4. 1	109		職員寮内の1F・S58年塔山児童館開設のため閉室
大和	42. 4. 18	213.84		(木造) オランダ風
江古田 (移転) (改築)	42. 8. 10 46. 9. 27 49.10. 3	127 392.70		北部福祉センターの1F 北部福祉センターの2F 江古田 ロケットの柱と星座のタイル壁
朝日が丘 (改築)	43. 9. 12 62. 8. 10	198 469.78		(木造) こどものマーク 桃園
新井薬師	44. 6. 10	201.64		(木造) 西洋のお城風・地下道あり
上の原	45. 4. 1	194.20		(木造) アメリカ西部劇風
宮の台	45. 4. 1	215.64		(木造) オランダ風
武蔵台	45.12. 1	201.67		(木造) 西洋のお城風
南台	46. 4. 1	194.20		(木造) アメリカ西部劇風
昭和 (改築)	47. 5. 1 平元. 7. 17	258 596.87		(木造) オランダ風 中野昭和
仲町 (改築)	47. 9. 29 平 3. 12. 18	205 558.44		保育園と併設・丸窓のある洋館 仲町 遊戯室が吹き抜け
大和西 (改築)	48. 4. 1 52. 2. 15	212 408.64		保育園移転跡・都営母子アパート1F 大和 王子様の顔
桃が丘	48.10. 5	400.68	桃が丘	保育園と併設・西洋のお城風・育成室が最初に設けられた
沼袋西	49. 3. 1	297.92	沼袋	保育園と併設・象の壁
鷺宮	50. 8. 15	439.30	鷺宮	テントウ虫のマーク・単独館で初めての鉄筋コンクリート
西中野	50.10. 1	440.89	西中野	動物の壁・鷺宮とほぼ同じ形
みなみ	51. 6. 1	431.44	多田	ヒマワリの壁・建設をめぐる住民運動があった
丸山	51. 6. 1	418.66	丸山	ペリカンの壁
文園	52. 5. 19	408.64	桃園第二	王女様の顔
若宮	53. 5. 1	497.48	若宮	鉄筋コンクリートでは初めての木床・高い天井
弥生	55. 7. 7	461.79	向台	中野の児童館で一番広い遊戯室がある
かみさぎ	58. 1. 7	544.46	かみさぎ	初めて500㎡を越える
塔山	58.10.14	514.37	塔山	東部地域センターと併設
野方	59. 4. 1	512.90	野方	初めて体力増進指導員が入る・都より児童センターとして補助
みずの塔ふれあいの家	59. 9. 1	665.05	江原	老人会館機能との融合施設・世代間交流を図る
上高田	63. 4. 1	491.75	上高田	図書館との併設・遊戯室が吹き抜け

※注 開設順

4 施設の変遷（学童クラブ）

平5. 1. 31現在

クラブ名					
中野神明	S 39旧南中野出張所内	S 40体育館内	S 48児童館内	S 49プレハブ	(弥生公園内)
中野神明東	S 57空き教室64. 4㎡(増設)	S 62児童館内105. 8㎡(新館に伴い移転)			
多田	S 40空き教室の半分	S 51児童館内68. 00㎡(新館に伴い移転)			
新山	S 40小さい部屋	S 47児童館2 F	S 48プレハブ42. 56㎡(南台児童遊園内)	H 4	拡張
向台	S 40体育館入口	S 55児童館内87. 5㎡(新館に伴い移転)			
桃園	S 40空き教室	S 47児童館内29. 2㎡	S 53拡張47. 98㎡	S 61空き教室63㎡	S 62児童館内99. 96㎡(新館に伴い移転)
谷戸	S 40空き教室	S 47児童館内	S 51宮園緊急保育室併設97㎡	S 58空き教室63㎡	S 59宮園児童福祉施設併設98. 35㎡
谷戸西	S 61空き教室63㎡(増設)	H 4谷戸に統合のため閉室			
塔山	S 39学校の空きスペース	S 51空き教室63㎡～	S 55プレハブ77. 76㎡(校庭)	S 58児童館内100. 8㎡(新館に伴い移転)	
中野本郷	S 40空き教室	S 48児童館隣接家屋72. 72㎡(移転)	S 63拡張89. 21㎡		
桃が丘	S 40空き教室	S 48児童館内120. 58㎡(新館に伴い移転)	S 58児童館隣接家屋に分室99㎡(拡張)		
桃園第三	S 39学校の空きスペース	S 47児童館内2 F 26. 85㎡(新館に伴い移転)	年度内に3 Fに移転79. 72㎡		
仲町	S 40空き教室	S 47児童館内36㎡(新館に伴い移転)	S 60空き教室63㎡	H 3児童館内87. 19㎡(新館に伴い移転)	
桃園第二	S 40空き教室	S 52児童館内79. 72㎡(新館に伴い移転)			
東中野	S 40物置のような作業室	S 51空き教室	S 52プレハブ(学校内)	S 55空き教室32. 32㎡	S 59空き教室63㎡
中野昭和	S 40空き教室ほか	S 49プレハブ49. 68㎡(昭和児童遊園内)	S 59(拡張)	H 1児童館内179. 56㎡(新館に伴い移転)	
上高田	S 39学校の空きスペース	S 57教材室38. 57㎡	S 58空き教室63㎡	S 63児童館内100. 35㎡(新館に伴い移転)	
上高田南	H 1空き教室63㎡(拡張)				

新井	S40空き教室	S46プレハブ48.6㎡	S50プレハブ(学校内)	S58空き教室99.36㎡
新井薬師	S61児童館内41.19㎡(増設)	S63新井に統合のため閉室		
江原	S40学校内の部屋	S50北部福祉センター内250.35㎡	S59児童館内112.25㎡(新館に伴い移転)	
沼袋	S40プレハブ(学校内)	S46プレハブ50㎡	S49児童館内95.07㎡(新館に伴い移転)	S56プレハブ増築102.98㎡
江古田	S40学校内の空き教室	S49児童館内78.96㎡(新館に伴い移転)		
北江古田	S56児童館内38.3㎡(増設)	S56プレハブ78.96㎡(慈恵会病院跡地内)	S59療育センターアポロ園内250.35㎡	
丸山	S40学校内図書室の半分	S46プレハブ50㎡(学校内)	S51児童館内75.62㎡(新館に伴い移転)	
北原	S40学校内廊下ほか	S51プレハブ56.7㎡(みつわ公園内)		
野方	S40空き教室	S50プレハブ48.6㎡(新井南公園内)	S59児童館内107.73㎡(新館に伴い移転)	
啓明	S40空き教室	S48児童館内	S49プレハブ49.68㎡(啓明公園内)	S60空き教室70.87㎡ H4(拡張)
大和	S39学校の空きスペース	S51プレハブ	S52児童館内72.72㎡(新館に伴い移転)	
鷲宮	S40空き教室と廊下	S50児童館内95.62㎡(新館に伴い移転)		
西中野	S40学校内の小さな部屋	S50児童館内95.54㎡(新館に伴い移転)		
若宮	S40物置の小さな部屋	S53児童館内81.9㎡(新館に伴い移転)		
若宮南	S63空き教室63㎡(増設)	H2若宮に統合のため閉室		
武蔵台	S40空き教室	S47児童館内	S48プレハブ52.49㎡(武蔵台公園内)	S63拡張74.25㎡
かみさぎ	S54空き教室64㎡	S55プレハブ77.76㎡(富士見台グラウンド民有地内)	S58児童館内108㎡(新館に伴い移転)	

※注 児童館新館は建て替えて替えるも含む

5 研究会テーマ

年度	テーマ	年度	テーマ				
昭和 53	1. 児童館の運営 2. 技術の修得とその生かし方 3. " 4. " 5. 学童保育の運営 6. 集団づくり 7. " 8. 児童館と地域 9. 遊びの研究 10. ケースワーク	57	1. 障害児の受け入れ 2. " 3. 紙工作の習得とその生かし方 4. 子どもと作れる手作り工作 5. " 6. 人形劇・製作から演出まで 7. " 8. あそびの指導と実際 9. " 10. 学童クラブにおける児童の指導 11. 学童クラブ児童と地域児童とのかかわり 12. 年間計画のあり方				
	54		1. 児童館の運営 2. 技術の修得とその生かし方 3. " 4. " 5. 学童保育の運営 6. 児童図書 7. 集団づくり 8. " 9. あそびの研究 10. レクリエーションの実際 11. 障害児の受け入れ	58	1. 児童館の役割・機能 2. 学童クラブのめざすもの 3. 障害児の受け入れ 4. 子どもと作れる手作り工作 5. " 6. " 7. 折り紙と紙工作 8. 幼児グループの理論と実際 9. 現代の子どもをどうとらえるか 10. " 11. 児童心理 12. 児童図書		
			55		1. 技術の修得とその生かし方 2. " 3. " 4. 遊びの研究 5. 集団づくり 6. 児童館の運営 7. 障害児の受け入れ 8. レクリエーションの実際 9. 学童保育の運営 10. 児童図書	59	1. 児童館の機能・役割 2. 現代の子どもをどうとらえるか 3. 遊び場研究と児童館建築構造 4. あそびの指導と実践 5. 学童保育のめざすもの 6. 児童図書 7. 児童館と地域のつながりについて 8. 子どもと作れる手作り工作 9. " 10. " 11. 児童心理 12. 子どもと作れる手づくりおやつ
					56		1. 技術の修得とその生かし方 2. " 3. あそびの研究 4. 集団づくり 5. 児童館運営 6. 障害児の受け入れ 7. 野外活動のあり方と実際 8. 学童保育運営 9. あそびの指導と実際

年度	テーマ	年度	テーマ
60	1. 児童館の役割と機能 2. 遊び場研究と児童館建築構造 3. 学童保育について 4. 児童館の図書活動 5. 児童心理 6. 児童館におけるクラブ活動の理論と実際 7. 子どもと作れる手作り工作 8. " 9. おやつについて 10. 人形づくりとその生かし方 12. 視聴覚教材	平成 元年	1. 新しい児童館を考える 2. 地域の教育力を高めるネットワークづくり 3. 子どものイメージを広げるあそび 4. 児童館活動 5. あそびごろの開発と実践 6. 教師学の発想と実践 7. 日常活動におけるリズムダンスあそび 8. 仲間意識を育てる集団あそびの研究 9. 手作り工作 10. 児童館機能を生かす施設づくり
61	1. リズムダンス 2. 館外活動の場所 3. 集団あそびの実践 4. コミュニケーション研究 5. カウンセリングマインドの習得 6. 児童館の機能と役割 7. 児童館建築構造 8. 母親の仲間づくりを援助するために 9. 現代の子どもをどうとらえるか 10. 子どもと作れる手作り工作 11. おやつについて 12. 人形作りとその生かし方 13. 視聴覚教材	2	1. 新しい児童館 2. これからの学童クラブ 3. 地域の子育てネットワーク 4. 児童館機能を生かした施設づくり 5. 子どもの遊ぶ権利と児童館 6. イメージを広げるあそび 7. 子どもとあそびと児童館-ふれあいあそび- 8. 人間関係を育む児童館活動・あそび 9. 情報の収集・提供とその生かし方
62	1. 児童館の役割と機能Ⅰ 2. 児童館の機能と役割Ⅱ 3. 親の仲間づくり・地域づくりをめざして 4. 絵本の製作 5. 身近な素材を使った手作り工作 6. ちょっと変わった手作り 7. リズムダンス 8. 工作活動(子どもと作り、遊べる)	3	1. 魅力ある児童館をめざして 2. これからの学童クラブ 3. 児童館機能を生かす施設づくり 4. 児童館における情報の収集と提供 5. 子どものあそびと児童館-自然とのふれあい遊び- 6. 児童館における乳幼児対応 7. イメージを広げる遊び 8. 高学年への対応
63	9. あそび(日常的あそび、集団あそび、集い等) 10. 現代の子どもをどうとらえるか 11. 子どもと文化を考える 12. 造形あそびと子どもの心 13. 子どもと施設 14. 親業(教師学)について 15. 子どもの集団における親業の活用 16. カウンセリング	4	1. 魅力ある児童館をめざして 2. これからの学童クラブ 3. まちの中にあそび空間 4. 自然との出会いあそび 5. 地球と仲良くなろう 6. 仲間づくりを広げる遊び 7. 中野区の児童館を広く知らせるために 8. 高学年・中学生対応 9. 児童館機能を生かした施設づくり 10. 子どもの心と体の健康を考える

【編集後記】

児童館の歴史がやっと出来上がりました!!

今の児童館を築いてきた多くの職員に話を聞いたり、古い貴重な資料を借りて勉強したりと手探り状態で始めた作業はとても大変でしたが、今まで知らなかったエピソードなど、いろいろなことを知る機会ともなり、楽しくとても勉強にもなりました。また、児童館への思いも新たにすることができました。

作成にあたり、忙しいなかを資料探しや情報提供、原稿内容の確認や点検をしてくれた児童館の職員、児童館との思い出や児童館での活躍を書いてくださった地域の大人の方や子どもたちなど、本当に多くの方々のご協力をいただきました。ご協力いただいた方々にはこの場をかりてお礼を申し上げたいと思います。どうもありがとうございました。

この冊子を少しでも多くの方々に読んでいただき、今以上に児童館に親しみと理解を持っていただき、子どもの未来のために共に手をたずさえて活動していくための手助けになれば、と願っています。

未来へ！

— 児童館25年のあゆみ —

発行	平成5年(1993年)3月
編集発行	中野区 地域センター部 女性・青少年課 中野区中野4-8-1 電話(3228)8935
印刷	(有)誠文社印刷所 中野区東中野1-16-5 電話(3367)6339

印刷物登録番号4地女18号

●この冊子は古紙を使用した再生紙を利用しています